

9章 副詞・副詞句・副詞節

問題

【1】

A.

全訳

知識の断片をただ暗記している少年は、何かを知っているなどとはとうてい言えないし、ましてや、知っていることを理解しているなどとは言えない。知識は、何らかの形でその知識を持っている本人の実際の立場と関係があり、それでいわゆる「英知」を形成するのでなければ、無意味である。

B.

全訳

これが教育の目標である。すなわち、ただ単にあれやこれやについて知識を与えるだけではなく、ばらばらの知識を互いに結びつけて、統合された形で人生を見たり理解したりすることができるようになることである。教育は多くの要素を含めれば含むほど、それらの要素をただ包含するだけではなく、さらに続けてそれらを互いに関連付けていくならば、よりよいものとなる。

C.

全訳

④世の中には病気になって、はっきりと得をするように思える人達がいる。彼らは肉体的健康が衰えるにつれて、道徳的に成長するのである。⑤ある有名なジャーナリストが最近ある記事を書いたが、その中で、彼は、インフルエンザで病床に伏していると無駄に過ごした長い年月のすべてが頭の中に現れて、その結果もっと立派な人間になろうという決心で心がいっぱいになったと書いていた。私は読みながら彼をうらやましく思ったのだ。というのも、その時、私も病気であり、その苦しみがある程度私に益をもたらしていると、できれば考えたいところだったからである。しかし、残念ながらいつも病気になると、私が悩まされるのは、自分の過去にというよりも、むしろ自分の現在になのである。私は体調がかなりよい時に、自分の犯した罪を、なんの苦もなく懺悔するのである。⑥病気になると、良心の羽ばたきなどよりも、聴診器を通して医者の耳に聞こえているもの方に、はるかに関心を持ってしまうのだ。

【2】

解答

(1) 「全訳」の下線部①参照。

(2) (ア) b (イ) b (ウ) d

(3) 食料や燃料生産のために地球の大地や水をこれ以上奪ったり、大気汚染したりするのを今すぐやめること。(49字)

(4) (A) c (B) b (C) d (D) e (E) a (F) f

(5) 「全訳」の下線部③参照。

解説

(1)

◇ここでの suspect は「…の存在にうすうす気づく」という意味。

◇その目的語である the existence of a threshold という部分は、A threshold exists. (限界〔閾値〕が存在する) という文が名詞構文になったもの。

◇set by ~ in the air の set は過去分詞で、この部分は分詞の形容詞用法になっていて、threshold の詳細を説明している。

◇once this is passed の once that … (いったん…すると) が縮められて once になったもの。この部分が条件を表す副詞節になっている。そして nothing 以下にある and でつながれた2つの文が主節(帰結節)になっている。this は a threshold を指している。pass は「～を過ぎる」という意味であるが、ここでは文脈を考えると「～を超える」という訳語を選択したい。なお、passed の後ろにはカンマが省略されている。

◇nothing the nations of the world do will alter the outcome の nothing が否定主語。the nations of the world do という部分は nothing を修飾する形容詞節であることに注意。

◇alter = change

◇move = change

◇irreversibly 「取り返しがつかないほど」

◇a new hot state 「新たな高温の状態」

(2) いずれも文脈問題になっているので、空所の前後関係をきちんと把握する必要がある。

(ア)

空所の直前には、取り返しがつかないほど地球環境が変化してしまう怖れがあることと、現在がその転機であることが述べられている。ここではそのような状況を like (~に似ている) を使った比喩で表している。我々人間の今後の運命を、ナイアガラの滝を航行している小さな遊覧船の乗客の運命にたとえているのである。空所を含む部分は「…が故障しかかっていることも知らずに」という意味になっている。この例えの中で何が故障すると取り返しがつかない結果になるのかを考えれば b が選べる。

a 「流れ」 b 「エンジン」 c 「実験」 d 「国家」

なお、be about to … (今にも…しようとしている) は be going to …よりも差し迫った状況を表すときに使われる。この about は「～の周りに」という意味。

(イ)

空所の直前の文には、これまで人間は、進歩すること、人類を向上させることばかりに目を向けてきたことが述べられている。そして、それを裏付けるためにジョン・グレイの著書の内容が紹介されている。空所を含む部分は「我々が人類が必要とするもの…考えることはまずめったにない」という意味になっている。文脈から「～以外；～以上に」という意味になる選択肢 b を選ぶ。なお、ここでは only rarely (まずめったに～ない) という否定語句が強調されて文頭に飛び出しているので、do we see という部分で倒置が起きている。

(ウ)

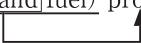
空所を含む文に出てくる it は、生きている地球、すなわちガイアのことである。直前の文には、人間が地球から多くのものを収奪しているせいで、地球はこれまでのような快適な世界を維持できなくなっていることが述べられている。空所を含む部分は「人間がもはや…でない状態に地球が変化しつつある」という意味になっているが、地球が変わりつつあるのは、地球環境維持の妨げになっている人間の排除であることが分かる。それにふさわしい選択肢を選ぶ。

- a 「想像力豊かな」 b 「従属している」 c 「持続可能な」 d 「歓迎される」

(3)

下線部は「このような思い切った措置」という意味なので、この措置の具体的な内容を説明することになる。これに該当する部分は、直前の文の Even if の後ろにある we stopped immediately 以下と stopped poisoning 以下の 2つである。seizing of Gaia's land and water for food and fuel production という部分も、名詞構文になっていて、seize と Gaia's land and water for food and fuel production は動詞と目的語の関係が成立している。2つある and が結びつける語句を正しくとらえること。

Gaia's land and water for (food and fuel) production.



(4)

空所の前では、我々人間がこれまで行ってきた地球環境の破壊を修復するのはもはや手遅れかもしれないことが述べられている。それを、続けるにしてもやめるにしてもリスクが大きい麻薬中毒患者にたとえていることに気づくかどうかがポイントになる。be addicted to ~（～中毒になっている）という表現があるので、are addicted to とつなげたくなるが、中毒の対象として drug（麻薬）が後ろに続かなければ成立しない。そこで、形容詞の後置修飾を使った someone addicted to a drug というつながりが想定できる。これは関係詞を使った someone who is addicted to a drug と同じ働きになる。like は「…に似ている」という意味の形容詞なので、全体の骨格としては We are like someone …という形になることが分かる。残った all は副詞として強調するときに使われることがあるので、ここでは all too …という形で「あまりにも…すぎる」という意味になると判断できる。

(5)

- ◇ We have instead to use it wisely, as Dr Jekyll would do, with the health of the Earth, not the health of people, in mind.
- 挿入部分をすべて除くと We have to use it wisely with the health of the Earth in mind. という文になる。この it は前文の technology を受けているので、名詞に戻して和訳する方が望ましい。
- with ~ in mind 「～を念頭において」
- instead は「その代わりに；そうではなくて」という意味の副詞で、具体的には直前の「abandoning technology の代わりに」という意味になる。
- as Dr Jekyll would do の as は「…なように」という意味の様態を表す接続詞。would が使われているのはこの部分が仮定法過去になっているため。ここでは条件は主語で「ジ

キル博士ならば」。do は代動詞で use it wisely を受けている。

- the health of the Earth, not the health of people という部分には, A (and), not B (B ではなくて A) という表現が使われている。これは not B but A と比べると, B ではないことに焦点が置かれる。
- ◇ This is why it is much too late for sustainable development; what we need is a sustainable retreat.
- This is why … (こういう理由で…) は関係副詞を使った表現。下線部③第1文内の理由を受けている。
- この文の it は漠然とした状況を表す。
cf. It is too late. (もう手遅れだ)
- much は too late を強調している。
- ここでのセミコロン (;) は対比を表している。
- what ~ is … は、擬似分裂文。強調を外すと, We need a sustainable retreat. (我々は持続可能な撤退を必要としている) という文になる。

全訳

科学は包括的であること、単に個々の学問分野の寄せ集めにならないことをめざしているが、システム科学的な手法を取る人たちでさえ、地球システムに対する我々の理解は、患者に対する19世紀の医師の理解とあまり変わらないことを真っ先に認めるであろう。だが、病の深刻さを認識する程度には地球の生理機能について我々は十分に認識している。①気温や空気中の二酸化炭素の濃度によって決まる境界の存在に我々はうすうす気づいている。
いったんこれを超えてしまうと、世界の国々がすることで結果を変えられることは何もなく、
地球は取り返しがつかないほどの新たな高温の状態になるだろう。我々は現在こうした転機の1つに近づきつつあり、我々の運命は、エンジンが故障しかかっていることも知らずにナイアガラの滝の上を静かに航行している小さな遊覧船に乗っている客の運命に似ている。

我々人間の存在に対する地球の反応について我々が知ることは数少ないが、非常に気がかりなものである。たとえ我々が直ちに、食料や燃料の生産のために地球の大地や水をこれ以上奪うのをやめて、大気を汚染するのをやめたとしても、我々がすでにもたらした被害から地球が回復するのには1000年以上かかるだろうし、このような思い切った措置でさえ我々を救うのには手遅れかもしれない。回復するには、もっと言うと、我々の過去の過ちの結果を軽減するには、化石炭素をより安全なエネルギー源に置き換えるための並々ならぬ国際的な取り組みと周到に計画した手順を必要とするだろう。我々文明人は、使い続けても死に至り、突然使用をやめても死に至る麻薬中毒の人とあまりにも似ている。我々は自らの知性と創造性のせいで現在の窮地に陥った。それは10万年も昔に始まっていたかもしれない。その頃、我々は狩猟をする安直な方法として初めて森に火を放った。我々は単なるあり当たりの動物ではなくなり、地球を破壊し始めていた。我々はあの統合失調症の2人、ジキル博士とハイド氏と同等の種である。我々は壊滅的な破壊を行う能力を持ちながらも、すばらしい文明を築く潜在能力も持っている。ハイドは我々にテクノロジーを悪用するように仕向けて了。我々はエネルギーの使い方を誤り、地球を人口過剰にしたが、テクノロジーを捨てることによって文明を維持することはないだろう。③そうではなくて、人間の健康ではなくて地

球の健康を念頭において、ジキル博士ならばそうするように、テクノロジーをうまく活用しなければならない。こういうわけで持続可能な発展をめざすのは、もはや手遅れで、我々に必要なのは持続可能な撤退である。

我々は発展するという考え方と人類の向上のことで頭がいっぱいいて、退却を不快な言葉、恥すべきこととして見なしている。哲学者であり思想史学者であるジョン・グレイはその著書『わらの犬』の中で、我々は人類に必要なもの以外のことを考えることはめったにないと述べて、このような無知をキリスト教と人間主義の基盤と関連づけた。それは2000年前に生まれたが当時は慈悲深いもので、我々は地球にとって大した脅威ではなかった。今や我々は60億を超える飢えた貪欲な人間で、皆が先進国の生活様式を熱望しているので、我々の都会の生活様式は生きている地球の領域を侵害している。我々は多くのものを奪っているので、地球はもはや我々が当然と考えてきた、なじみのある快適な世界を維持することができない。今や地球は自らの内部規定に従って、我々がもはや歓迎されない状態へ変わりつつある。

注.....

- ℓ. 1 ◇ global 「包括的な」
 - ◇ more than … 「単に…ではない」これは潜在否定になっている。
 - ◇ loose 「ばらの」
- ℓ. 2 ◇ our understanding of the Earth system 「地球システムに対する我々の理解」
 - この of は目的格関係。We understand the Earth system. という文が元になった名詞構文である。
- ℓ. 8 ◇ that of the passengers 「乗客の運命」
 - that = the future
- ℓ. 9 ◇ pleasure boat 「遊覧船」
- ℓ. 11 ◇ The few things we do know 「我々が知っている数少ないこと」
 - この do は強意を表す助動詞。
- ℓ. 12 ◇ disturbing 「不安にさせる」
- ℓ. 17 ◇ sequence 「順番」
 - ◇ replace A with B 「A を B に取り替える」
 - ◇ fossil carbon 「化石炭素」(石炭・石油・天然ガスなどに含まれている炭素)
 - ◇ civilization 「文明人；文明国」
- ℓ. 19 ◇ withdraw 「(麻薬などの) 使用をやめる」
 - ◇ in a mess 「窮地に陥って；混乱して」
- ℓ. 20 ◇ as long as … 「…もの間」
 - ◇ set fire to ~ 「～に火を放つ」
- ℓ. 22 ◇ demolition 「破壊」
 - ◇ equivalent of ~ 「～に匹敵する」
 - ◇ Mr Hyde and Dr Jekyll 「ジキル博士とハイド氏」(Stevenson の小説に出てくる二重人格者で、自分で発明した特殊な薬を飲むと極悪人のハイド氏となり凶暴性を發揮するが、解毒剤を飲むと善良なジキル博士に戻る)

ℓ. 29 ◇ be obsessed with ~ 「～で頭がいっぱいである」

ℓ. 31 ◇ observe that … 「…だと述べる」

【3】

解答

Streets:	Buildings:
Arkansas Avenue _____ (8)	Caesar's _____ (J)
Bacharach Boulevard _____ (4)	Convention Center _____ (M)
Boardwalk _____ (11)	Terminal for Private Bus Lines _____ (F)
Mississippi Avenue _____ (10)	Terminal for Public Bus Lines _____ (G)
Ohio Avenue _____ (6)	Trump Plaza _____ (L)

Script

CD 5

M : What can I do for you?

W : Excuse me, but could you tell me where I could find a good hotel. I'm looking for something clean and safe, but not very expensive.

M : I'd be very happy to give you whatever information I can, but I'm afraid I can't
5 recommend any private establishments like hotels. There's a regulation about that because I'm a public employee. There have been cases, um, you know, of people in jobs like mine getting money for sending customers to certain hotels and restaurants. You know how it can be in tourist towns.

W : I see what you mean. Well, thanks anyway.

10 M : I'll tell you what I can do, though. I'll tell you how to get to the Visitors Bureau in the Convention Center. They can give you all the information you need, including a list of approved hotels.

W : That would be great.

M : OK then, you go straight out the front exit there and turn right on Bacharach

15 Boulevard. That's the street right in front of the station.

W : Just a moment. Let me write this down.

M : Sure. Got a pencil? Now go straight on Bacharach until you get to the first intersection, then turn right. That will be Ohio Avenue.

W : Ohio. . . .

20 M : Go straight down Ohio, then take the third right onto Arctic Avenue. You could go two blocks further up and turn right on Pacific Avenue, but Arctic is a safer street for walking.

W : Really? Is it dangerous to walk around here?

M : It's all right, but there are pickpockets cruising the crowded streets like Pacific and

25 Atlantic.

W : I'll take your advice.

M : When you turn right on Arctic, go straight. You'll pass the bus terminals. Then take the fourth left. That will be Mississippi Avenue.

W : Is that the fourth left after the terminals?

30 M : No, the fourth after you turn onto Arctic Avenue.

W : Are the bus terminals on the right or the left?

M : Both. One is on the left just before Arkansas Avenue, and the other is on the right just after Arkansas Ave. Public buses leave from the one on the right and private bus lines use the one on the left. [Pause] So, after you turn onto Mississippi you go two and a half blocks and you'll find the Convention Center on your right, just across the street from the famous Trump Plaza casino. The Visitors Bureau is on the ground floor to the right of the entrance on Mississippi Ave.

W : OK, I've got it. Thanks a lot. And by the way, how far is it to the Boardwalk?

M : It's just past the Convention Center. It runs for five miles along the beach, and in
40 addition to ten or so casinos, you can find lots of shops and amusements on the Boardwalk
and on the piers. Only a couple of blocks from the Convention Center you can find the
Ocean One Mall, which was built on one of the old amusement piers, just opposite Caesar's.

[483 words]

全訳

M : いらっしゃいませ。

W : すみません、いいホテルがあるところを教えていただけませんか。清潔で安全だけど、
それほど高くないところを探しているのですが。

M : どんなことでもお教えできることは喜んでお教えしますが、残念ながらホテルのような
民間の施設をどこかお勧めするということはできないのです。私は公の職員なのでそれ
には規制があります。私のような仕事をしている人間がお客様をどこそこのホテルだ
とかレストランに送り込んでお金をもらうといったケースがあります。観光の街だと
どういうふうになりがちか、お分かりかと思いますが。

W : おっしゃりたいことはわかります。どちらにしてもありがとうございます。

M : でも、わたしにできる範囲のことをお伝えしましょう。Convention Center 内の観光案
内所への行き方をお教えしますよ。そこなら公認のホテルリストも含めて必要な情報を
みんな教えてもらえますよ。

W : それはいいですね。

M : OK、それではそこの正面出口を出て真っ直ぐ行ってください。それで Bacharach
Boulevard のところで右折してください。それが駅のすぐ前の通りです。

W : ちょっと待って。書き取らせてください。

M : はい。鉛筆はもっていますか。で、Bacharach を真っ直ぐ行き、最初の信号まで行った
ら右に曲がるとそれが Ohio Avenue です。

W : Ohio と…。

M : Ohio を真っ直ぐ行って、それから 3 番目を右に曲がって Arctic Avenue になります。
2 ブロック先まで行って Pacific Avenue のところを右折してもいいけれど、歩くには
Arctic のほうが安全な通りです。

W : そうですか？ このあたりは歩くと危ないのですか？

M : 大丈夫ですが、Pacific とか Atlantic のような混み合った通りをうろうろしているスリ
がいるんですよ。

W : ご忠告に従うことにします。

M : 右に曲がって Arctic に入ったら、真っ直ぐ行きます。バスターミナルを通り過ぎたら、
4 番目を左に。それが Mississippi Avenue です。

W : ターミナルの後の 4 番目の左の道ですか？

M : いいえ、Arctic Avenue に入ってから 4 番目です。

W：バスター・ミナルは右側ですか、それとも左？

M：両方です。1つは左側で Arkansas Avenue のすぐ手前です。もう1つは Arkansas Ave のすぐ先です。公営のバスは右側のターミナルから出ていて、私営のバスの路線は左側のを使っています。<間>それで曲がって Mississippi に入ったら、2ブロック半行くと、右側に Convention Center が見えます。有名な Trump Plaza のカジノの向こう側に。観光案内所は、Mississippi Ave 側の入り口の右側の1階にあります。

W：OK、わかりました。どうもありがとうございます。ところで Boardwalk まではどれくらいですか。

M：Convention Center を過ぎたところです。浜に沿って5マイルほど続いている通りです。

10ばかりカジノがあるほかに、Boardwalk や埠頭にはたくさんお店や娯楽施設がありますよ。Convention Center からたった数ブロックのところには、the Ocean One Mall があります。古い娯楽施設のあった埠頭の1つに建てられたものです。ちょうど Caesar's の向かいです。

【4】

ポイント

副詞句と形容詞句との違いや注意すべき副詞など、さまざまな基本的論点を確認する。

解答・解説

(1) (a) (i) 「父から手紙を受け取った。」

○ from my father は副詞句で got という動詞を修飾する。

(ii) 「父からの手紙を読んだ。」

○ from my father は形容詞句で letter という名詞を修飾する。

(b) (i) 「このコーヒーはかなり熱い（熱くて良い）。」

○ fairly 「かなり（望ましい意味）」

(ii) 「このコーヒーはかなり熱い（熱すぎる）。」

○ rather 「かなり（望ましくない意味）」

(2) (a) before 「昨年、彼は3年間働いていた会社を辞めた。」

○ ago は「今から～前」であるのに対して、before は「(過去の) ある時点より～前」を表す。本問では「昨年より3年前」である。

(b) yet 「その話はまだ聞いていません。初耳です。」

○ have yet to do 「まだ…していない」。have still to do という言い方もあるが、still は実現しそうな意味を含むとも言われる。

(c) still 「まだその話は聞いていません。初耳です。」

○ 「いまだ～ない」の意味は not ~ yet とするか、もしくは still ~ not とする (= I haven't heard the story yet.)。

(d) ever 「これはこれまで見た中で最も美しい風景です。」

○ ever 「これまで；ずっと」

(e) hardly 「コンテストまでほとんど時間が残っていない。」

○ hardly [scarcely] any ~ = almost no ~

cf. hardly [scarcely] ever ~ = almost never

- (f) not 「わかりますか。」「いいえ、残念ながらわかりません。」
- I think so. や I hope not. などのように、目的語である肯定の that 節の代わりに so. 否定の that 節の代わりに not を用いる用法がある。
- Ex. "Is he coming?" "I think so. (= I think that he is coming.)"*
- 本問の I'm afraid not. は I'm afraid that I don't follow you. の意味になる。
- (g) Here 「少ないがこれをあげます。」
- Here is S. で「ここに S があります。」となる。直訳は「あなたのための何かがここにあります。」である。
- (h) either 「彼らは最善を尽くさなかつたし、先生もまた尽くさなかつた。」
- 「～もそうです」と肯定の場合は、too を用いるが、「～もそうではない」と否定の場合には、either を使う。
- (i) that 「よく聞いてください。そんなに簡単ではありませんよ。」
- this や that には副詞として「こんなに」、「そんなに」とする使い方がある（指示副詞の this, that）。
- Ex. I cannot eat this much. (こんなにたくさん食べられません。)*

【5】

ポイント

very も much も強意の副詞として用いるが、その使い方は異なる。ここでその相違をしっかりと学習しておくこと。

解答・解説

- (1) very 「この絵はとても美しい。」
 - 形容詞・副詞を強調するには very を用いて修飾する。
- (2) much 「あなたの親切を大変感謝しています。」
 - 動詞を強調するには much を用いる。ただし、very, so, too などを伴わずに much が単独で置かれるのは疑問文と否定文の場合が普通。また much を単独で前に置くことのできる動詞は、強い感情を表す動詞 (Ex. admire, appreciate, regret) や比較の意を含む動詞 (Ex. exceed, increase, improve) などに限られる。
- (3) much 「その教授の態度は大変尊敬されている。」
 - 過去分詞を強調するには much を用いるのが普通。
- (4) very 「昨晩の野球の試合は大変興奮せるものだった。」
 - 現在分詞を強調するには very を用いる。
- (5) very 「私たちはあなたが参加してくれたことを喜んでいます。」
 - 日常的に用いられて形容詞化したと言える過去分詞は very で強調できる。
- (6) very 「これは私がこれまで読んだ中でもずば抜けてよい本です。」
 - 最上級は very でも強調できる (= much [by far] the best)。
- (7) much 「彼は私よりはるかに速く走れる。」
 - 比較級は much で強調する。

cf. much better = far, still, even, yet better

- (8) Much 「私が大変驚いたことには、彼女が人気テレビ番組に出演していた。」
 ○ to one's + 感情名詞（～なことには）を強調するためには much を用いるが、その位置には注意（= To my great surprise, ~）。
- (9) much 「この点について、その理論は両方ともだいたい似通って見える。」
 ○ 「同じ」という意味の形容詞を much で修飾すると「だいたい同じ」という意味になる。
- (10) much 「私は自分にはあまりに時期尚早だと分かった。」
 ○ too を強調するには、much, all, far, way などを用いる。
Ex. This is way too good!

【6】

A.

ポイント

副詞の中のいくつかは他の品詞としても用いられる。ここではその中でも代表的なものを扱う。

解答・解説

(1) ever

時の副詞で「これまで、ずっと、いつか」という意味を表す。

- (a) 「この映画は史上最高傑作の 1 つです。」
 ○ 最上級 + ever で、「これまでの中でも」と最上級を強調する。
- (b) 「ウイリアムは古今類を見ない偉大な芸術家です。」
 ○ as ~ as ever lived は「これまで生きてきた誰にも負けないほど~だ」が直訳。
- (c) 「いつか東京に来ることがあれば私どもに是非立ち寄ってください。」
- (d) 「彼の猫は相変わらずかわいい。」
 ○ as ~ as ever は「これまでと変わらず~」が直訳。

(2) once

- (a) 「ダニエルは 1 月に 1 回ロンドンに出張に出かける。」
 ○ once 「1 回」

- (b) 「いったん卵子が受精したら、受精卵が成長し始めます。」
 ○ once は接続詞。

○ Once S V, ~ 「いったん S が V すれば～」

○ fertilize 「～を受精させる；肥沃にする」

○ embryo 「受精卵；胎芽」

- (c) 「私は一度〔かつて〕髪を金色に染めたことがある。」
 ○ once 「かつて；一度」

- (d) 「今度ばかりは誰かに手伝わせればいいじゃない。」
 ○ for once 「今度だけは」。for は‘交換’を表し「この一回と引き換えに」が直訳。

(3) far

- (a) 「博物館まで歩いていこう。」
 ○ ‘as far as + 場所’ で前置詞的に扱われ、「～まで」という意味になる。

- (b) 「私に関する限りでは、この本は生徒によくない（と思います）。」
○ as [so] far as S is concerned 「Sに関する限り」
- (c) 「ここから駅まではどのくらい遠いですか。」
○ far は形容詞で「遠い」。
- (d) 「今までのところ、新しい仕事に満足しています。」
○ so far 「今までのところ」

B.

ポイント

only は置かれる場所によって意味が変わる代表的な副詞である。置かれる場所によってどのようにニュアンスが変わらるのかを確認しておくこと。

解答・解説

- (1) c 「その新しいマニュアルだけが事務員を困らせた。」
○ Only the new manual は「その新しいマニュアルだけが」となる。つまり古いマニュアルは困らせなかったのだろう、と推測する。
- (2) d 「その新しいマニュアルは事務員を混乱させたに過ぎなかった（が、まる一日を台なしにしたわけではなかった）。」
○ only confused は「混乱させたに過ぎなかった」となる。
- (3) b 「その新しいマニュアルはその事務員だけを混乱させた。」
○ only the clerk で「その事務員だけを」となる。
- (4) a 「その新しいマニュアルは唯一の事務員を混乱させた。」
○ the only ～は「唯一の～」となる。この only は形容詞。

今日の一言

The boughs that bear most hang lowest. 「実るほど頭が下がる稲穂かな。」
that は関係代名詞 which の意味で、that bear most が先行詞 boughs を修飾しています。
このように名詞を修飾する従属節を形容詞節と呼びます。直訳は「最も多くの実をつける枝が最も低く垂れる。」という意味で、人間的に優れた人ほど謙虚に振る舞うものだということを表します。この授業を受講して英語は出来るようになってきていますか。出来るようになっても奢らず高ぶらず、謙虚な姿勢で臨みましょう。

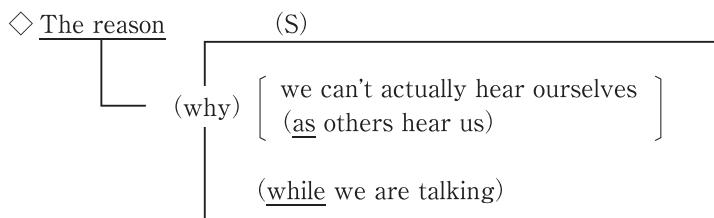
添削課題

全訳

(1) 私たちが話をしている時に、自分の声が他人に聞こえるようには、実際には聞こえていない理由をお話しすると、とてもおもしろい話になります。自分の話している声を聞く時には、^{どう}頭がい骨が、喉仏の振動をとらえて、その振動を脳の聴覚中枢へ中継するのです。その聴覚中枢で、その振動は判断されるわけです。しかし、自分の声の録音や自分以外の人間が話しているのを聞く時は、耳を用いるのです。別の言葉でいえば、その音波は鼓膜にぶつかるのです。鼓膜はその振動を中耳や内耳に伝えます。中耳や内耳では聴神経がその振動をとらえて、それを判断するために、聴覚中枢に送るのです。(2) ですから、録音した声は、いつも自分が発して自分で聞いている声とは、完全に違うように、本人には聞こえるのです。そして、そういうわけで、自分の声の最初の録音を聞いた時に、「あれ、自分の声じゃないみたいだぞ」と声をあげることになるのです。しかし、その録音を聞いている本人以外の人には、本人の声にしか聞こえません。ですから、友人達の耳に聞こえるように、自分の声を聞くという経験がないのならば、その貴重な経験をしてみたいと思うでしょう。

解答・解説

(1)



makes (V)
a fascinating story (O)

(2)

- ◇ That's (the reason) why ~
- ◇ sound = give a certain impression to the ear
- ◇ entirely = completely or in every way
- ◇ different (to you) from the voice
- ◇ utter [ʌtər] = produce (a sound ; word etc.) with one's voice
- ◇ And that's why you (, on hearing your first recording,) exclaim,
 - on = at the time of, or shortly after
 - exclaim = say something suddenly and in a loud voice when one is surprised, shocked, disappointed, etc.
- ◇ Why [wáɪ] … used to show that one is surprised or annoyed
 - Ex. Why, it's Jones! (おや、ジョーンズじゃないか。)
- ◇ that は the recorded voice を指す。